



# 陣屋小だより

学校教育目標

かしこく  
やさしく  
たくましく

令和6年8月29日  
第5号

## 「挑め、自分史上最強。」

校長 保戸田雅之

連日の猛暑に加え、南海トラフ地震の不安や発達しながら関東地方に接近した台風、頻発するゲリラ豪雨など、生命の危機を感じるようなことの多い夏休みでした。それでも、おかげさまで大きな事故の情報もなく2学期のスタートを迎えることができました。

また、猛暑の中、個人面談にご協力くださったこと、スモールガーデンや花壇の水やりにご協力くださった学校応援団の皆様にも感謝申し上げます。

1学期の終業式では、「健康に過ごすこと」「家族の一員として進んで働くこと」「何か一つチャレンジをすること」と話しましたが、どんな夏休みだったでしょうか。



フランスのパリで開催されたオリンピックでは感動的なシーンが次々と繰り広げられ、時差の関係でリアルタイムではなか

なか見られませんでした。熱い戦いに夢中になりました。

海外のオリンピックとして史上最多のメダル獲得数を記録したパリ大会、熱戦を終えたばかりのメダリストのコメントも多く中継されました。インタビューに答えるアスリートに共通していたのは、「このメダルは、支えてくれたり応援してくれたりした人たちのおかげ」という感謝の言葉でした。自らの力で勝ち取った栄光に対し、周囲への感謝の気持ちをもてる「やさしさ」は、本当に美しく尊いと思いました。

一方、「ここに来るまでの道のりはとても苦しかった。だから、どんな結果になっても、これまでがんばってきた自分を信じて戦う。」

と、あきらめずに努力を積み重ねて、そのことへの自信を語る選手の姿も印象に残りました。各競技の熱戦も見応えがありましたが、アスリートが語る努力や心構えについての話から、自分に対する「強さ」も感じました。

私は、「人にやさしく 自分に強く」という言葉が大好きです。陣屋っ子にも、周囲への感謝の気持ちをもちながら、自分に妥協しない強さを持った人になってほしいと願っています。これは、本校の学校教育目標「やさしく」「たくましく」に通じるものです。やさしさと強さをベースに「かしこく」になってほしいと思います。

昨日開幕したパラリンピック。日本選手団のスローガンは「挑め、自分史上最強。」だそうです。それぞれ得意分野や成長のスピードは違っても、一人一人が自己ベストをマークする2学期であるように、職員一同、全力で取り組んでまいります。

2学期もどうぞよろしく申し上げます。

## 屋外トイレができました

かつて飼育小屋があった場所に、新しく屋外トイレができました。今までは、体育倉庫と一体で男女共同のものしかなかった。かなり快適な環境になりました。10月の運動会でもご利用ください。



また、校内のすべてのエアコンが新しいものに交換されたり、高学年の教室に75インチの大きな電子黒板が導入されたりと、快適な教育環境が整備されています。